

和泉地区 保護司会会報

発行所 和泉地区保護司会
 責任者 堀田 徳雄
 〒594-0071 和泉市府中町4-20-4
 和泉市社会福祉協議会内
 TEL 0725-43-7513

退任保護司



東ブロック 和田 正臣

保護司の委嘱をお受けした頃は、仕事と両立できるのかと不安がありました。対象者と話しているとうしてこの子がとったり、面接の日時を守らない人がいて、何度変更のやり取りをしたりと当初は戸惑ったものです。それまでの仕事や世間の付き合いを通じての人間関係とは違った、対象者との距離の取り方や対話を勉強させてもらいました。保護観察期間満了を迎えた対象者のほっとした表情に安堵し、再犯の連絡を受けた時は私の力の至らなさを知り残念に思いました。いろいろな対象者を見てもきましたが、その後うまくいっているだろうかと気になったり、懐かしく思ったりしています。

保護司会の皆様、事務局の皆様、関係者の皆様のおかげで無事に退任できましたことに深く感謝しています。ありがとうございました。

令和五年五月二四日
平成五年五月二五日

退任 委嘱



中ブロック 藤岡 興道

平成十五年九月二十五日に委嘱を受けて二十年、様々な対象者を担当させて頂き、当然ながら対象者ひとりひとり事情が異なり応対するのに苦慮しました。同じような過ちをした人であっても、育った環境により罪に対して違った感情を持っています。色々話をしながら心を開いて話してくれるようにと心掛けました。家庭状況の悪さで保護観察に難儀した少年、五年間ちゃんと面接に来てくれた人、担当した保護観察対象者の皆さんが立ち直ってくれていると思います。

保護司の役割は罪を犯した人の更生を支援する事ですが、犯罪のない社会の実現を目指した活動も大切だと思います。これから学校との連携、社明運動、更生保護女性会やBBS会との社会参加活動を通しての保護司会の活躍を願っています。

今年九月二十四日付けで退任致します。保護司会の皆様には大変お世話になりました。感謝しています。有難うございました。

令和五年九月二四日
平成一五年九月二五日

退任 委嘱



北ブロック 吉村 道夫

令和五年九月二十四日付けをもって退任する事になりました。教師を退職してこれからの人生を考えていた矢先、信太郵便局長の沼さんから、更生保護の大切さに感銘を受けて保護司を引き受けました。気が付けば早や退任する時を迎えていました。

当初は、一市民として地域の中で罪を犯した人の更生にどのような活動ができるのか不安でしたが、北ブロックの諸先輩のご支援を受けて、また、統括官の方に相談しながら、活動を続けてきました。その間、環境調整、保護観察対象者の更生に、自分なりに頑張ってきましたが、環境の違う生活の中で更生することの厳しさも、身をもって、知りました。

満期を終えて半年位後、Aさんが電話してきて、「先生、社会復帰をしよう」と頑張っているけど、時々、罪を犯して三食昼寝付きの所に戻りたいと、ふと思うこともある。」と、冗談交じりで、話していました。今考えるとその時、もっと、親身にお話出来なかったのが、とても、残念で、悔やまれました。

和泉地区保護司会の方々の、更生保護活動の益々の発展を祈念しまして、感謝の気持ちを込めて退任のご挨拶とします。

令和五年九月二四日
平成一七年九月二五日

退任 委嘱

行事予定

- ★大阪更生保護大会
十月三十一日(火)
大阪国際交流センター
- ★日帰り管外研修会
十一月一〇日(金)
更生保護法人盟親(京都市)
- ★第三回定例研修会及び連絡会
十一月二八日(火)
和泉市コミュニティセンター
- ★「刑法等の一部改正等について」
新年互礼会並びに退任保護司謝恩会
二〇二四年一月六日(土)
うお健
- ★第四回定例研修会及び連絡会
二〇二四年三月
和泉市コミュニティセンター
テーマ「自由テーマ」

訃報

平成一三年一月二五日に委嘱された野端潤治保護司が、令和五年五月一九日に逝去されました。
生前のご功績を偲び、ここに謹んでご冥福をお祈りします。

第73回和泉市「社会を明るくする運動」推進大会 七月一日 京都大学大学院教育学研究科教授 博士(社会学) 岡邊 健氏講演「犯罪・非行からの立ち直り」

当日の天候が不安定であることから、前日の保護司会役員会で、午前十一時に暴風警報、大雨警報等、何らかの警報が発令されたら、推進大会講演会を中止せざるを得ず、開催が懸念されました。当日は心配していたほどの天候ではなく、無事に約二百名ほどの参加者のもと、講演会を開催することができました。

最初に、少年犯罪に関わるクイズを出題して講演会が始まりました。
そして、パワーポイントによるスライドを映しながらの講演に入り、まず理解しなければならぬのは、犯罪の情勢がどうであるのか、そして犯罪者というものは、どういう人たちであるのか、ということである。それを直感ではなく、根拠に基づいて、犯罪とは、犯罪者とは、という話をしたい、とされました。

そのうえで、理解していただき、考えていただきたいことが大きく三つ、一つ目は、犯罪の発生



に影響を与える環境について、二つ目は、犯罪に手を染めてしまった人に対するレッテル貼りに関して、このレッテル貼りそのものが社会にとって害悪を及ぼす、三つ目は、二つ目とも関連するが、再犯、すなわち、犯罪を繰り返してしまう人を少なくするためには、社会はどうあるべきなのか、と挙げられ、この三つについて種々資料を用いて、説明されました。

今日の日本では、犯罪は(凶悪事件も)減少傾向にある。しかし、犯罪不安を抱えている人は多い。犯罪者・非行少年は、自身が困っている人である。自己責任論は犯罪者へのレッテル貼りを強め、むしろ犯罪を増やしてしまう。犯罪からの立ち直りには、よき人間関係と寝食に困らない生活が必要、と講演を締められました。

色んな視点からの話を聞かせていただき、とても有意義な講演でありました。
(東ブロック 藤本 幸晴)



和泉市「社会を明るくする運動」 作文コンテスト表彰者

- 作文コンテスト 優秀作品(和泉市代表)
- 伯太小 六年 池光 祐翔
 - 南松はつが野 六年 高橋 紗衣
 - 南松はつが野 五年 西口 薫子
 - 榎尾中学校 二年 阪田 瑚夏
 - 南松はつが野 九年 喜美田 比呂人
 - 南松はつが野 八年 大塚 由雅

○作文コンテスト 佳作作品

- 南池田小学校 六年 石川 蓮菜
- 和気小学校 六年 富尾 柊斗
- 国府小学校 六年 辻林 菜穂
- 南松はつが野 七年 藤原 咲良
- 南松はつが野 八年 濱谷 遼太郎
- 富秋中学校 三年 赤松 陽音
- 光明台中学校 三年 田中 芽依
- 南池田中学校 二年 浅田 陸翔
- 山本 理紗子

第73回「社会を明るくする運動」

街頭啓発活動



推進委員会



南ブロック



西ブロック



北ブロック



中ブロック



更生保護女性会の皆さん

推進大会



アカリーネちゃん御挨拶



受付の様子



受付の様子

活動紹介

「薬物乱用防止教室」を実施

去る7月11日(火)和泉中学校にて、中学2年生293名の8クラスを対象に体育館にて「薬物乱用防止教室」を実施しました。

当日の6限目に行い、学校側には東園先生を中心に、各クラスの先生方の協力を得まして、原田尚史校長先生の挨拶に始まり、また講師には北口が担当させていただきました。和泉地区保護司会の薬物乱用防止委員会の方々の参加もいただきました。

ここ数年は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、オンライン授業も実施してまいりましたが、昨年度より対面の薬物乱用防止教室が実施され、今回も生徒の皆様との顔をあわせての教室となったこと大変嬉しく思っております。

授業内容については、最初にDVDタイトル「薬物のはなし」を鑑賞していただき、講話については次のとおりでございます。

- (1)薬物乱用とは？
- (2)薬物の種類と別名
- (3)大麻事犯の大阪の現況
- (4)大麻を乱用するとうなるのか
- (5)依存性と耐性の話
- (6)正しい知識と誤った情報を信じない
- (7)誘われたらキッパリ断ろう

ロールプレイングとして、先生と生徒についての実演。

- ①同級生に誘われた場合
 - ②先輩から誘われた場合
 - ③街角で知らない人に誘われた場合
- 最後には、和泉地区保護司会 堀田会長より挨拶をいただき、生徒の皆様方に激励を飛ばされました。

また今回の薬物乱用防止教室については、例年どおり和泉中学校の事務所前にて、薬物乱用防止パネル4枚と薬物標本を展示して生徒たちに見ていただき、資料の提供につきましては、泉佐野保健所のご協力をいただき、生徒たちにおいても薬物乱用の恐ろしさを説明させていただきました。和泉地区保護司会としては、青少年が誤った情報を信じ、大麻を始めとした薬物に安易に手を出さないためにも、薬物乱用防止教室を通じて、青少年が正しい知識を持ち、薬物を乱用しない選択をする力をつけられるよう、支援し続けることが必要であると考えます。

最後に、次回も「薬物乱用防止教室」が、今年同様にご参加の皆様と顔を合わせての授業となる事を願うと共に、和泉中学校の生徒の皆様方におかれましては、引き続き健康で楽しい学校生活を過ごされます様、ご祈念致します。

(中ブロック北口 吉輝)

令和五年度 年輪大学講座

6月21日・28日



はじめに「保護司と更生保護」DVDで理解してもらい、体験談を交えた講義としました。対象者には近所のおっちゃんて話を聴き心の通った会話を心掛けて活動していただきます。

「環境は自分が変われば変わっていく」

(南ブロック 辻貞治郎)

南ブロック校区研修会

7月18日

保護司会主催のもと、更生保護女性会、BBS会の8名と南松尾はつが野校区長、各町会長、自治会長、計18名が参加。○社会を明るくする運動 ○更生保護女性会の活動 ○BBS活動について



○更生保護全般について 質問を中心としたやり取りなど、情報交換を図った。

コロナ禍のデメリットが逆に地域での小研修を増やしている。(松山 武司)

日帰り管外研修会

11月10日(金) 京都方面

研修先 更生保護法人 盟親(めいしん) 住所 京都市中京区六角通大宮西入 因幡町百十二番地四

盟親は、更生保護施設で、刑事施設や少年院から釈放された人や保護観察を受けている人のうち、頼るべき人がいない人たちに對して、一定期間、宿泊場所や食事を提供し、生活指導を行うなどして円滑な社会復帰を手助けしています。

行先 しょうざんリゾート京都 紫野 今宮神社 京都鉄道博物館

(担当 東ブロック)



しょうざんリゾート京都



更生保護サポートセンター 運営報告

令和5年度(令和5年2月~令和5年7月)利用状況	
内容別利用数	属性別来訪者数(延べ人数)
市民	21
学校関係	1
行政職員等	36
更生保護関連団体	2
保護観察官等	4
保護司	343
その他	1
面接	16
会議	13

【注】その他:資料作成、事務補佐 行政職員等:事務局長含む 市民:保護観察対象者、引受人等含む

企画調整保護司駐在シフト					
令和5年現在					
曜日	月	火	水	木	金
	福井	山村	松山	堀田	藤本
担当	一日				
	半日	齊藤	辻本	西本	辻(和) 中達
開所:月曜~金曜のAM10時~PM4時					
TEL:0725-44-1555 FAX:0725-54-8016					

保護観察対象者等との面接用に別室を用意できますのでご利用ください。(事前予約をお願いします)。(中達武美)